

Time table

第3回 2011. 8. 24

時間	内容
9:50	国立公文書館入口集合
10:00-11:40	国立公文書館見学
11:40-13:30	竹橋から上野へ移動 ランチ (上野グリーンサロン)
13:30-14:00	徒歩にて国際子ども図書館へ
14:00-15:00	国際子ども図書館見学
15:00-15:30	上野から東洋文庫へ
15:30-17:00	東洋文庫見学

当日、名札をお忘れなく！
屋外の徒歩は上野のみ
(800m)ですが、暑い季節
ですので熱中症には各自お
気をつけください。

IAAL事務局 連絡先

170-0004東京都豊島区

北大塚1-19-12

TEL: 03-5961-3401 FAX: 03-5944-5087

E-mail: info@iaal.jp

IAAL緊急連絡先 (携帯番号)

090-9100-0387



日時：

2011年8月24日 (水) 9時50分～17時

見学先・テーマ：

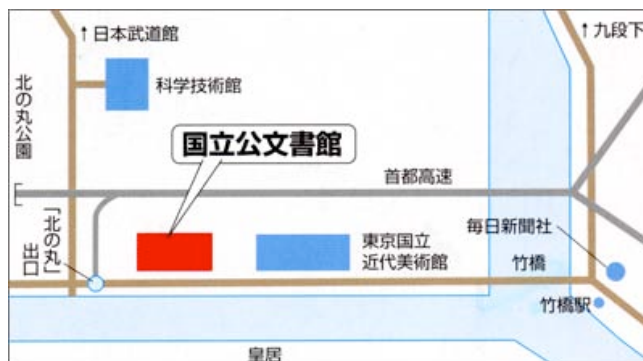
- 国立公文書館
- 国立国会図書館国際子ども図書館
- 東洋文庫

「コレクションの魅力:保存と提供」をテーマに上記3か所を巡ります。特徴ある収集資料は、皆さんのレファレンス業務で役立つだけでなく、資料保存や提供方法も参考になる事と思います。またそれぞれ、資料保存技術、児童の読書推進、特殊言語資料整理に関する幅広い啓蒙活動がされている点も特筆すべき機関です。

集合：

国立公文書館 入口 に9時50分集合

地下鉄東西線竹橋駅下車[1b出口]徒歩5分



費用：

昼食代は各自お支払いください。

その他、途中の交通費は都バスをチャーターしますのでかきません。また、研修分科会で保険に加入していただきました。

2011研修分科会

第3回 夏季見学ツアー

私立大学図書館協会 東地区研究部 研修分科会

第3期 2011年度

<http://www.jaspul.org/e-kenkyu/el-ken-b/index.html>





<http://www.archives.go.jp/index.html> より引用

[概要]

独立行政法人国立公文書館は、国の行政機関などから移管を受けた歴史資料として重要な公文書等を保存管理しています。当館は、その保存実務から一般利用まで広く事業を行うことにより、歴史資料として重要な公文書等の適切な保存と利用を図ることを目的とした施設です。

[業務・活動]

「歴史公文書等」とは歴史資料として重要な公文書等のことで、「公文書」とは国の行政機関や独立行政法人等の職員が職務上作成し、又は取得した文書で、当該行政機関等の職員が組織的に利用するものとして保有しているものことです。国や独立行政法人等の諸活動や歴史的事実の記録である公文書等を保存し、主権者である国民が主体的に利用できるようにすることは重要なことです。

国立公文書館には、明治政府が江戸幕府から引き継いだ日本や中国の古書・古文書、明治政府が集めた国内外の出版物が所蔵されています。また明治以来の歴史的に重要な公文書等も所蔵されています。

見どころ

資料保存の技術と資料の提供方法

レファレンス：公文書を探すなら（『行政機構図』を繰るより省庁組織変遷図<http://www.digital.archives.go.jp/hensen/index.html> 等々）



<http://www.kodomo.go.jp/index.html> より引用

[使命]

すべての子どもにとって、読書活動は、「言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていくうえで欠くことのできないもの」（子どもの読書活動の推進に関する法律第2条）です。真に豊かな社会を実現するうえで、すべての子どもが読書の楽しみを享受できる環境を整備することは、社会全体の責務です。

[基本的な役割]

上記の使命を実現するため、国際子ども図書館は、国立国会図書館の一翼を担い、以下に掲げる3つの基本的な役割を果たします。

- ▶児童書専門図書館としての役割
- ▶子どもと本のふれあいの場としての役割
- ▶子どもの本のミュージアムとしての役割

[所蔵資料]

国内資料：…法定納本制度に基づき日本国内の児童書や児童雑誌、学習参考書や児童向けのDVD、CD-ROMなど（おおむね18歳以下の方が主たる利用者として想定される資料）を網羅的に収集しています。平成14年度からは教科書の収集も開始しました。

外国資料：約120の国と地域の児童書や関連資料を購入、国際交換や寄贈によって収集しています。

見どころ

児童書に興味がある方必見。児童サービスの啓蒙的活動も。

なんと、オープン前のミュージアムも
見学させいただけます



<http://www.toyo-bunko.or.jp/> より引用

[東洋文庫について]

東洋文庫は、広くアジア全域の歴史と文化に関する東洋学の専門図書館ならびに研究所です。約80年に及ぶ歴史を有するアジア最大の東洋学センターであり、国際的にも世界5指の1つに数えられています。

[所蔵図書]

東洋文庫の蔵書は、漢籍を含むアジア諸地域歴史文献（チベット語、タイ語、アラビア語、ペルシア語、トルコ語など諸言語文献）と欧文資料および和書とに三大別されます。

現在の所蔵総数は約95万冊。広くアジア全域を網羅するこれ程まとまった収集は世界的にもあまり例がなく、多くの貴重資料、貴重コレクションが含まれています。

この中には、国宝5点（毛詩、春秋経伝集解、史記、文選集注、古文尚書の各書写）と重要文化財7点（礼記正義、論語集解、古文尚書等の書写、ドチリーナ・キリシタン天草本、ジョン・セーリスの航海日誌など）が含まれます。

貴重資料としては、甲骨文字片635件、中国地方志3,000部、中国族譜860部、チベット・蒙古大蔵経13,000点、14世紀後半書写のコーランなど多岐にわたります。また、世界各地に所蔵されている敦煌文書（大英図書館所蔵のスタイン将来文書、パリ国立図書館所蔵のペリオ将来文書、中国北京図書館所蔵写経、ロシア科学アカデミー東洋学研究所サンクト・ペテルブルグ支所所蔵文書等）のマイクロ・フィルムが収集されており、グローバル・コレクションとして特筆されます。

見どころ

アジア諸言語の資料収集・整理。研究と資料提供の一体化。

（ミュージアム+ライブラリ+デジタルアーカイブ）